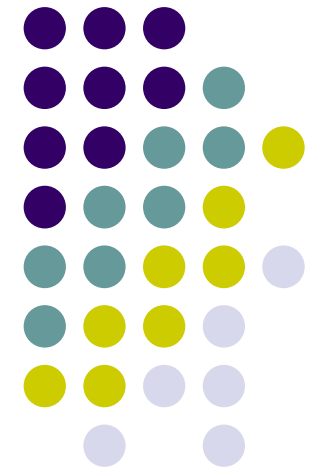


統計の分析と利用

堀田 敬介

確率変数と確率分布
期待値, 分散



2008/5/2, Fri.

試行とは？



- 試行

- 何かの行為により「偶然による」ひとつの結果を導き出す

〔例〕



さいころ投げ



コイン投げ

〔例〕 身長測定, じゃんけん, 宝くじを買う,
アンケート調査, 製品品質検査, etc.

確率変数とは？

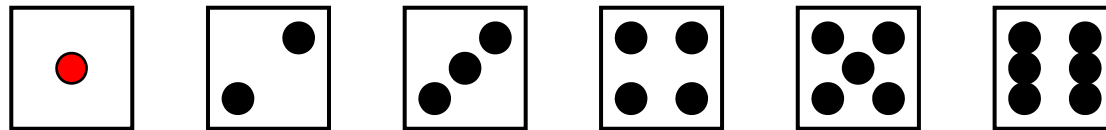
試行してみないと何が出るかはわからない！
とりうる値はわかっている。



- 確率変数 random variable

- それがとる各値に対し**確率が与えられている**変数

- 例: さいころ投げ



試行結果

$X =$ 1 2 3 4 5 6

確率変数の値

$P(X = x_k) =$ 1/6 1/6 1/6 1/6 1/6 1/6

確率

確率変数とは？



- 例：コイン投げ



- 一般に、確率変数の確率は以下のように表現される

$$P(X = x_k) = p_k \quad (k = 1, 2, \dots)$$

ただし、 $p_k \geq 0$ ($k = 1, 2, \dots$), $\sum_{k=1}^{\infty} p_k = 1$ である.

確率はすべて0以上

全ての確率を足すと1

演習1



- 確率変数

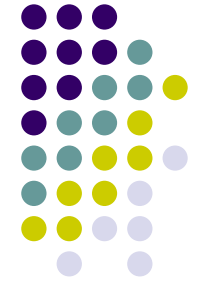
- 2個のさいころA, Bを振り出た目の差(Aの目-Bの目)を考える. この確率変数 X のとる値と, その値が出る確率を求めよ.

- 例) Aが1で, Bが3の時, $1-3 = -2$



X	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5
$P(X)$	1/36	2/36	3/36	4/36	5/36	6/36	5/36	4/36	3/36	2/36	1/36

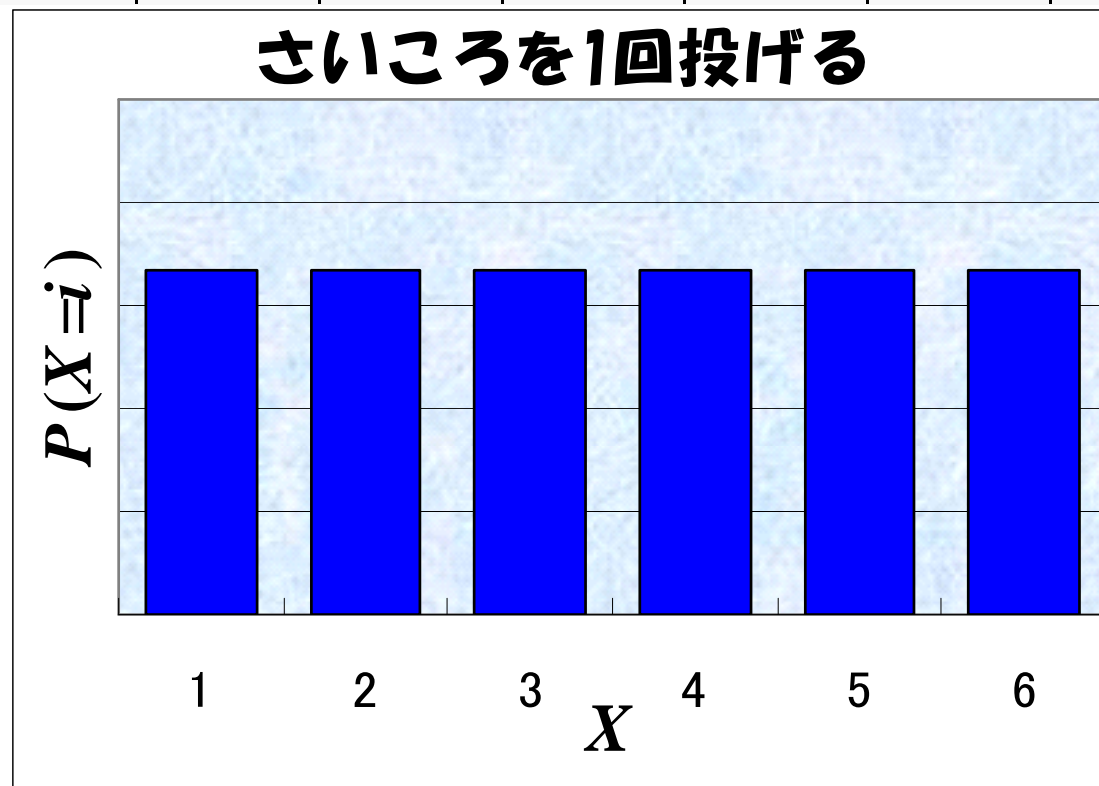
確率分布 probability distribution



- 確率分布 probability distribution

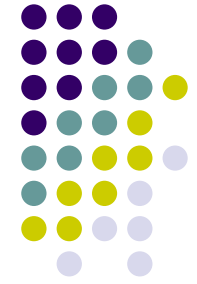
- 例:さいころを1回投げる

X	1	2	3	4	5	6
$P(X)$	1/6	1/6	1/6	1/6	1/6	1/6



一様分布

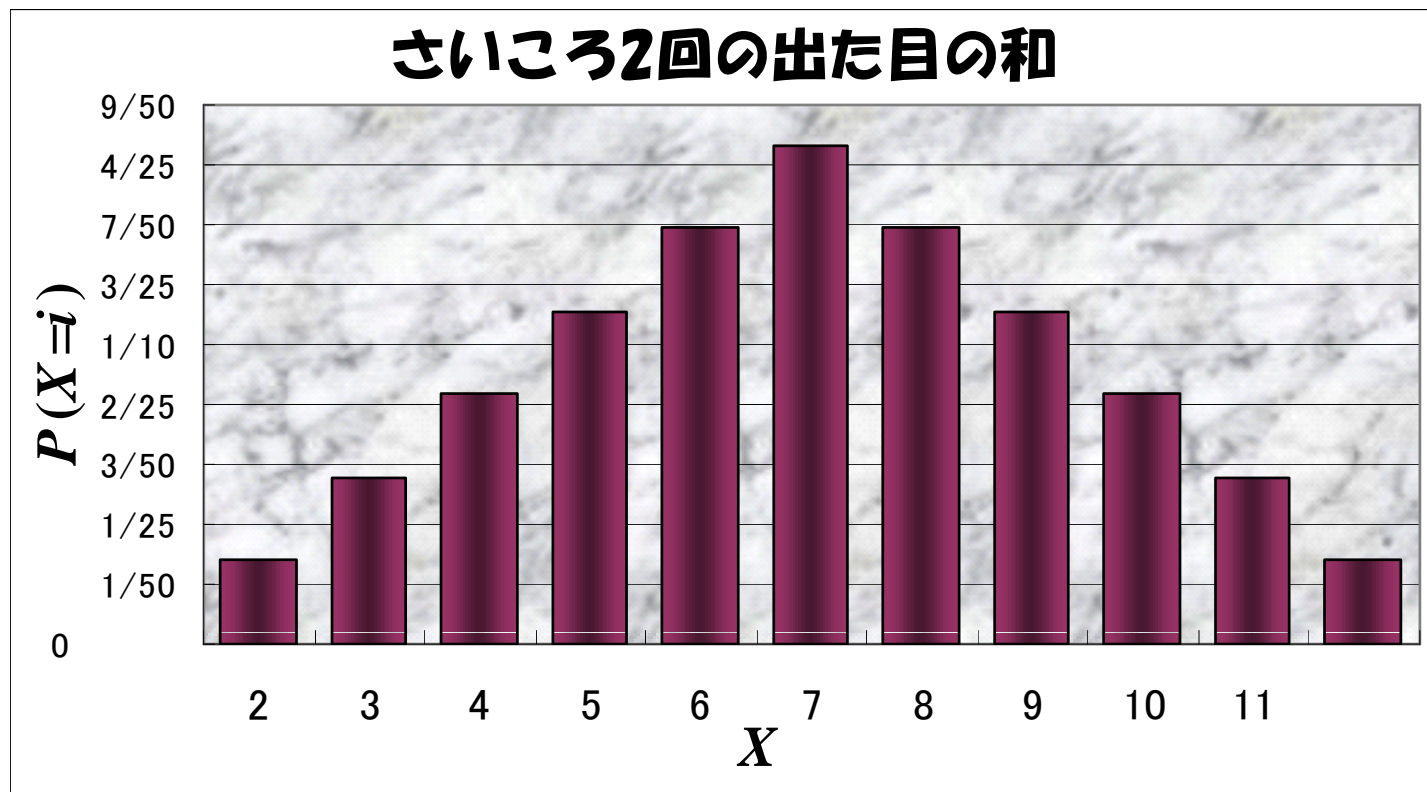
確率分布 probability distribution



- 確率分布

- 例: さいころを2回投げたときの出た目の和

X	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
$P(X)$	1/36	1/18	1/12	1/9	5/36	1/6	5/36	1/9	1/12	1/18	1/36



三角分布

実は
二項分布

確率分布 probability distribution



- 離散(型)確率分布 discrete distribution

- 可算集合 $\{x_1, x_2, \dots\}$ 中の値を取る確率変数 X は離散型 discrete type といわれる。このとき、それぞれの値の確率

$$f(x_k) := P(X = x_k) \quad (k = 1, 2, \dots)$$

を X の確率分布 probability distribution という。

ただし、

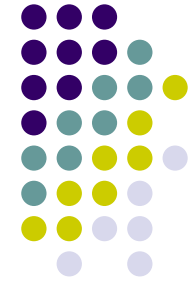
$$\begin{cases} f(x_k) \geq 0 \quad (k = 1, 2, \dots), \\ \sum_{k=1}^{\infty} f(x_k) = 1 \end{cases}$$

一般的な定義

確率分布

probability distribution

確率変数の期待値・分散



- 期待値 expectation, expected value

- 確率変数 X の期待値

- 例: コインを3回投げて表が出る回数の確率分布

X	0	1	2	3
$P(X)$	1/8	3/8	3/8	1/8

コインを3回投げると、平均して1.5回表が出るのが期待される

- 期待値

$$E(X) = (0 \times \frac{1}{8}) + (1 \times \frac{3}{8}) + (2 \times \frac{3}{8}) + (3 \times \frac{1}{8}) = \frac{3}{2}$$

- 確率変数 X の期待値

$$E(X) = \sum_x x \cdot f(x)$$

$$\left(\begin{aligned} E(X) &= \left(\frac{0 \times 1}{8} \right) + \left(\frac{1 \times 3}{8} \right) + \left(\frac{2 \times 3}{8} \right) + \left(\frac{3 \times 1}{8} \right) \\ &= \frac{0}{8} + \frac{1+1+1}{8} + \frac{2+2+2}{8} + \frac{3}{8} \\ &= \frac{0+1+1+1+2+2+2+3}{8} \end{aligned} \right)$$

期待値は算術平均を計算しているのと同じ

演習2

宝くじに関する洒落
LOTTERY: a tax on people
who are bad at math



- 期待値を求めよう
 - 宝くじの期待値

H18年オータムジャンボ宝くじ

(新市町村振興 第511回全国自治宝くじ) 1億3千万枚限定販売

[1千万枚あたりの当たり本数]

1等	1億5000万円	× 2本
前後賞	2500万円	× 4本
組違賞	10万円	× 198本
2等	1000万円	× 2本
3等	100万円	× 20本
4等	5万円	× 3000本
5等	1万円	× 20,000本
6等	3000円	× 100,000本
7等	300円	× 1,000,000本

確率変数の期待値・分散



- **補足: 期待値の基本法則**

「確率変数のスカラー倍」の期待値は、
「元の確率変数の期待値のスカラー倍」
に等しい

- スカラー倍の期待値

$$E(aX) = aE(X)$$

証明: $E(aX) = \sum_x ax \cdot f(x)$
 $= a \sum_x xf(x) = aE(X)$

- 例: さいころを振って出た目の1000倍円貰える賭

aX	1000	2000	3000	4000	5000	6000
$P(x)$	1/36	1/18	1/12	1/9	5/36	1/6

$$E(aX) = \frac{1}{6} \times 1000 + \frac{1}{6} \times 2000 + \dots + \frac{1}{6} \times 6000 = 3500$$

X	1	2	3	4	5	6
$P(x)$	1/6	1/6	1/6	1/6	1/6	1/6

$$aE(X) = 1000 \left(\frac{1}{6} \times 1 + \frac{1}{6} \times 2 + \dots + \frac{1}{6} \times 6 \right) = 3500$$

一致する



確率変数の期待値・分散



- 分散 variance

分散(ばらつき)
= 平均(期待値)からのずれ
(の2乗)の平均(期待値)

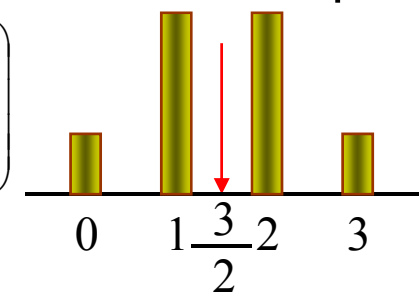
- 確率変数 X の分散

$$V(X) = E(\{X - E(X)\}^2) \quad (V(X) = E(X^2) - E(X)^2)$$

- 例: コインを3回投げて表が出る回数の分布の分散は?

$$V(X) = \frac{1}{8} \cdot (0 - 1.5)^2 + \frac{3}{8} \cdot (1 - 1.5)^2 + \frac{3}{8} \cdot (2 - 1.5)^2 + \frac{1}{8} \cdot (3 - 1.5)^2 = \frac{3}{4}$$

$$\left(\begin{aligned} V(X) &= \frac{1}{8} \cdot \{1 \times (0 - 1.5)^2 + 3 \times (1 - 1.5)^2 + 3 \times (2 - 1.5)^2 + 1 \times (3 - 1.5)^2\} \\ &= \frac{1}{8} \cdot \{(0 - 1.5)^2 + (1 - 1.5)^2 + (1 - 1.5)^2 + (1 - 1.5)^2 + (2 - 1.5)^2 + (2 - 1.5)^2 + (2 - 1.5)^2 + (3 - 1.5)^2\} \end{aligned} \right)$$



通常分散を計算しているのと同じ

- 確率変数 X の分散

$$V(X) = \sum_x (x - E(X))^2 f(x)$$

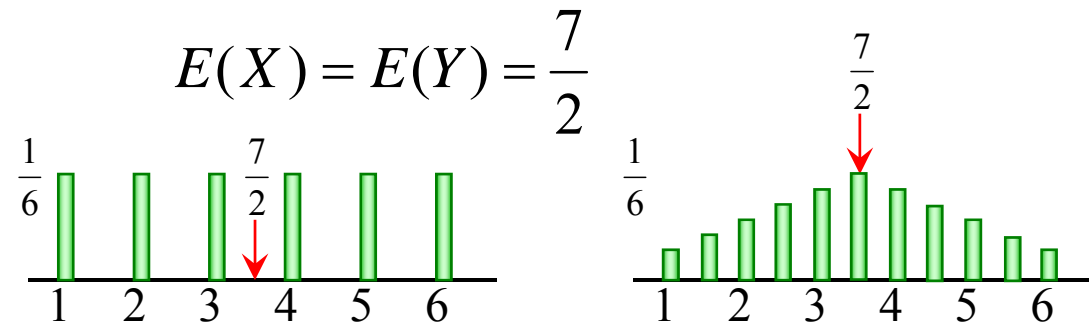
平均的にどの程度
散らばっているか?

確率変数の期待値・分散



- 分散は何故必要か？

- 例：確率変数 X を、さいころを1回振ったときの目，
確率変数 Y を、さいころを2回振ったときの目の平均
としたとき，それぞれの期待値を求めよ。



期待値は平均を，分散は散らばりを表す

- 例題のそれぞれの分散の値を求めよ。

$$V(X) \approx 2.917,$$
$$V(Y) \approx 1.458$$

期待値と分散を
知れば分布の
目安になる

確率変数の期待値・分散



● 補足: 分散の基本法則

● スカラー倍の分散

$$V(aX) = a^2 V(X)$$

「確率変数のスカラー倍」の分散は、「元の確率変数の分散のスカラー2乗倍」に等しい

証明:

$$\begin{aligned} V(aX) &= E((aX)^2) - E(aX)^2 \\ &= a^2 E(X^2) - \{aE(X)\}^2 \\ &= a^2 \{E(X^2) - E(X)^2\} = a^2 V(X) \end{aligned}$$

● 例: さいころ1個を振り、出目の1000倍円貰える賭

aX	1000	2000	3000	4000	5000	6000
$P(X)$	1/36	1/18	1/12	1/9	5/36	1/6

$$\begin{aligned} V(aX) &= \frac{1}{6} \times (1000 - 3500)^2 + \frac{1}{6} \times (2000 - 3500)^2 + \dots + \frac{1}{6} \times (6000 - 3500)^2 \\ &= 2,916,666.66\dots \end{aligned}$$

X	1	2	3	4	5	6
$P(X)$	1/6	1/6	1/6	1/6	1/6	1/6

$$\begin{aligned} aV(X) &= 1000^2 \left\{ \frac{1}{6} \times (1 - 3.5)^2 + \frac{1}{6} \times (2 - 3.5)^2 + \dots + \frac{1}{6} \times (6 - 3.5)^2 \right\} \\ &= 1000^2 \times 2.9166\dots = 2,916,666.66\dots \end{aligned}$$

一致する



もし「576倍円貰える」だったら
どちらが計算が楽?

確率変数の期待値・分散



- 標準偏差 standard deviation

- 確率変数 X の標準偏差

標準偏差
=分散の平方根

$$D(X) = \sqrt{V(X)}$$

- 例: コインを3回投げて表が出る回数の分布の標準偏差は?

X	0	1	2	3
$P(X)$	1/8	3/8	3/8	1/8

$$D(X) = \sqrt{V(X)} = \sqrt{\frac{3}{4}} = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

補足: 確率変数の歪度・尖度



- 歪度 skewness

- 確率変数 X の確率分布の非対称性の指標
- 歪度 $=\alpha_3$. ただし,

$$\alpha_3 = E(X - \mu)^3 / \sigma^3$$
$$(\mu := E(X), \sigma^2 := V(X))$$

歪度の数値の意味

$$\begin{cases} \alpha_3 > 0 \dots \text{右の裾が長い} \\ \alpha_3 < 0 \dots \text{左の裾が長い} \\ |\alpha_3| \dots \text{歪みの程度} \end{cases}$$

- 尖度 kurtosis (超過係数 coefficient of excess)

- 確率変数 X の確率分布の尖り具合を表す指標
- 尖度 $=\alpha_4 - 3$. ただし,

$$\alpha_4 = E(X - \mu)^4 / \sigma^4$$

正規分布が $\alpha_4 = 3$
なので、これと比較

尖度の数値の意味

$$\begin{cases} \alpha_4 - 3 > 0 \\ \text{正規分布より尖っている} \\ \alpha_4 - 3 < 0 \\ \text{正規分布より丸く鈍い形} \end{cases}$$

演習2



- 確率分布を求めよう
 - コインを5回投げて裏が出る回数の確率分布を求めよ.
 - 求めた確率分布をグラフに描画せよ.
 - 期待値を計算しよう.
 - 分散・標準偏差を計算しよう.
 - 歪度・尖度を計算しよう.

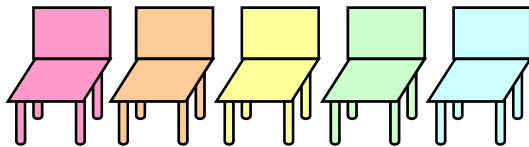
Coffee Break!



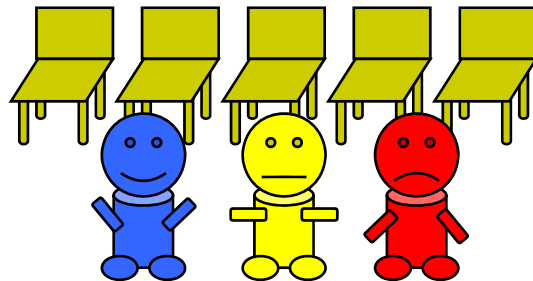
階乗・順列・組合せ

factorial・permutation・combination

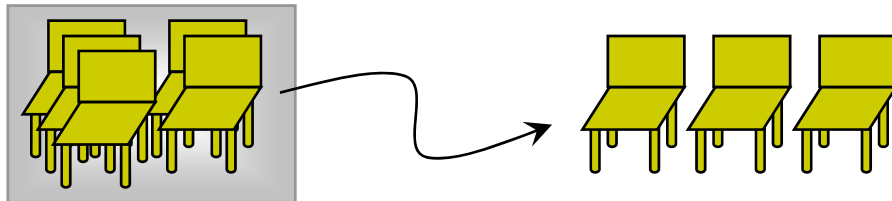
- 異なる5脚の椅子を一行に並べる並べ方は何通り?



- 5脚の椅子に3人の学生が座る座り方は何通り?



- 倉庫に5脚の椅子があります。使うのに必要な分3脚だけ倉庫から取り出します。取り出し方は何通り?



factorial

$$5! = 5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1 = 120$$

※) Excel関数: FACT(5)

permutation

$${}_5P_3 = 5 \cdot 4 \cdot 3 = 60$$

※) Excel関数: PERMUT(5,3)

combination

$${}_5C_3 = \frac{5 \cdot 4 \cdot 3}{3 \cdot 2 \cdot 1} = 10$$

※) Excel関数: COMBIN(5,3)

それぞれどんな計算になるのかしら?

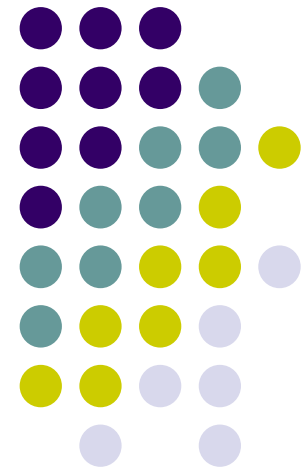


確率分布

probability distribution

離散(型)分布 discrete distribution

- ★ (離散)一様分布 uniform distribution
- ★ ベルヌーイ分布 Bernoulli distribution
- ★ 二項分布 binomial distribution
- ★ ポアソン分布 Poisson distribution
- ★ 幾何分布 geometric distribution
- ★ 負の二項分布 negative binomial distribution
- ★ 超幾何分布 hypergeometric distribution



離散型分布 discrete distribution



- (離散)一様分布 uniform distribution (of discrete type)

- すべての確率が等しい分布
 - 例: さいころを1回投げる

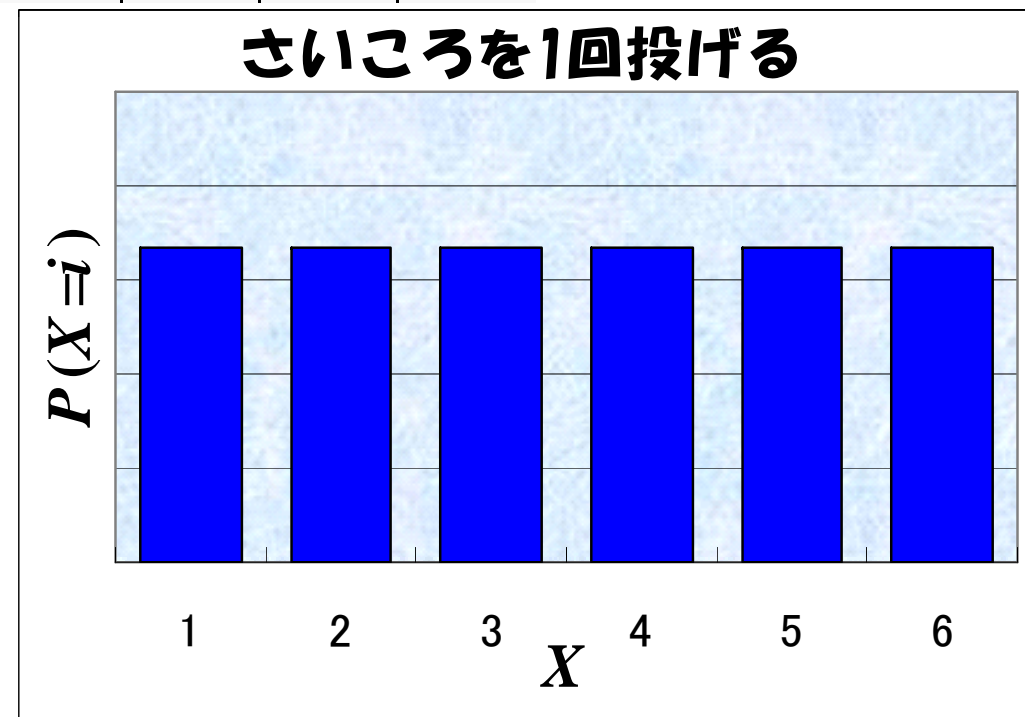
X	1	2	3	4	5	6
$P(X)$	1/6	1/6	1/6	1/6	1/6	1/6

- 確率分布

$$f(x) = \frac{1}{n}, \quad (x = 1, \dots, n)$$

- 期待値・分散

$$\begin{cases} E(X) = \frac{n+1}{2}, \\ V(X) = \frac{(n^2-1)}{12} \end{cases}$$



離散型分布 discrete distribution



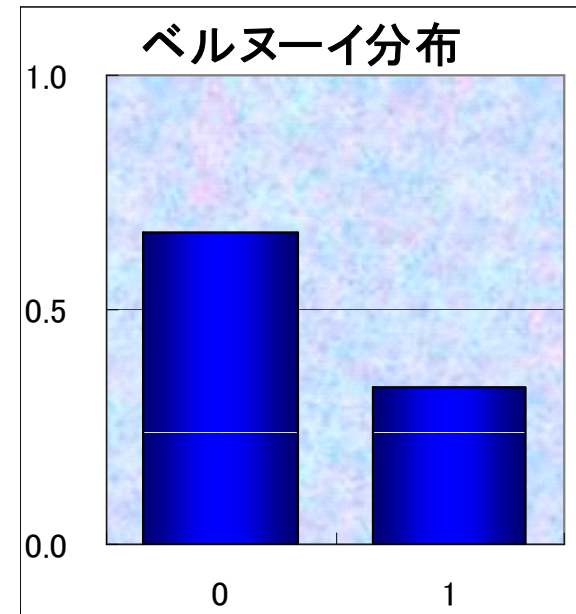
- ベルヌーイ分布 Bernoulli distribution

- 試行の結果が2通りしかない確率分布

X	0	1
$P(X)$	p	$1-p$

- 例: コインを1回投げる
 - 表が確率 $2/3$, 裏が確率 $1/3$ で出る硬貨

X	0	1
$P(X)$	$2/3$	$1/3$



- ベルヌーイ試行

- 2通りの結果しかない観測があり, これを同条件で独立にn回行うこと.

離散型分布 discrete distribution



● 二項分布 binomial distribution

- ベルヌーイ試行で、一つの結果が起こる回数の確率
- 確率 p をもつ事象が n 回の施行中 x 回起こる確率
- 例: サイコロを3回投げて1の目が x 回出る確率は...

0回出る確率 ... ${}_3C_0 p^0 (1-p)^3 = 125/216$

1回出る確率 ... ${}_3C_1 p^1 (1-p)^2 = 75/216$

2回出る確率 ... ${}_3C_2 p^2 (1-p)^1 = 15/216$

3回出る確率 ... ${}_3C_3 p^3 (1-p)^0 = 1/216$

$(p = 1/6)$

1が0回出る
 $\hookrightarrow \left(\frac{1}{6}\right)^0 \left(\frac{5}{6}\right)^3$

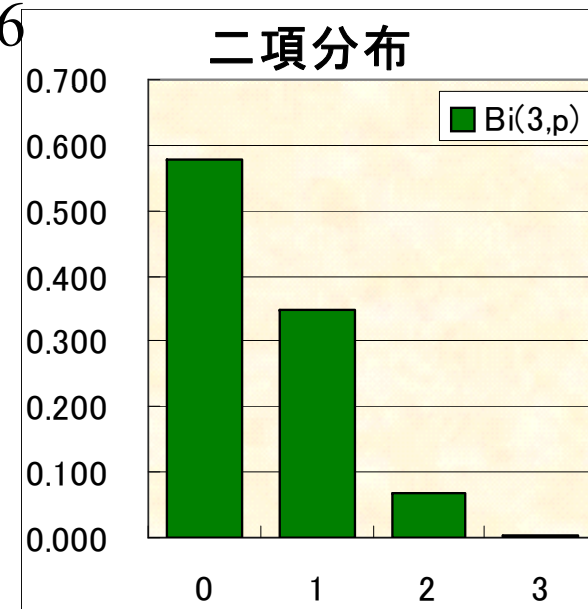
3箇所
0個1を置く
 $\hookrightarrow {}_3C_0$

1が1回出る
 $\hookrightarrow \left(\frac{1}{6}\right)^1 \left(\frac{5}{6}\right)^2$

3箇所
1個1を置く
 $\hookrightarrow {}_3C_1$

確率分布

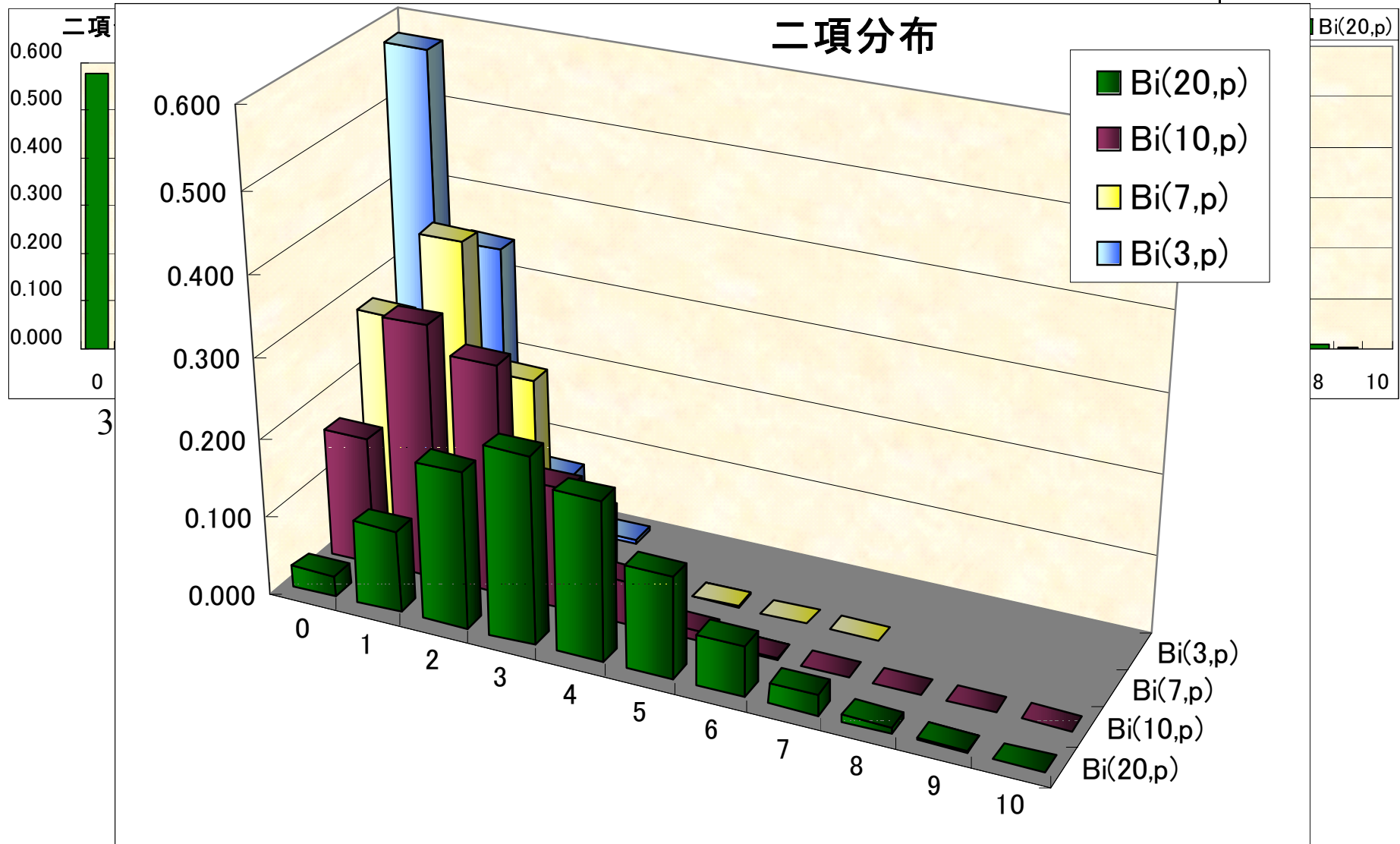
X	0	1	2	3
$P(X)$	$\frac{125}{216}$	$\frac{75}{216}$	$\frac{15}{216}$	$\frac{1}{216}$



離散型分布 discrete distribution



サイコロを投げる回数を増やすと1の目が x 回出る確率は...

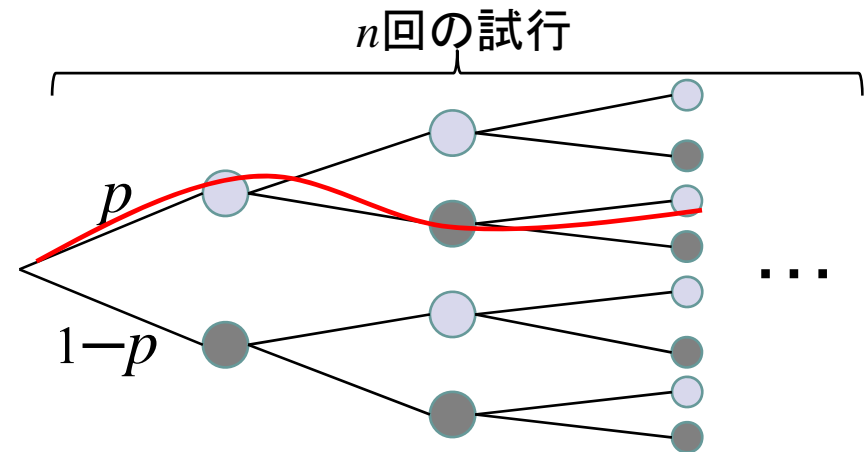
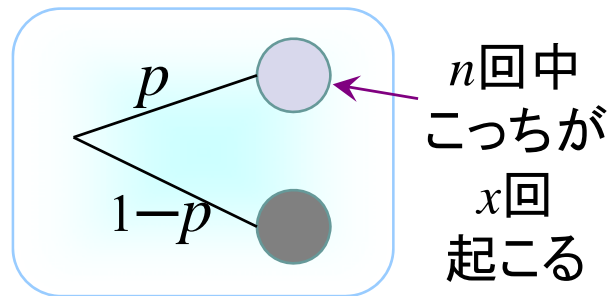


離散型分布 discrete distribution



- 二項分布 $Bi(n, p)$

- 確率 p をもつ事象が n 回の施行中 x 回起こる確率



- 確率分布

$$f(x) = {}_n C_x p^x (1-p)^{n-x} \quad (x = 0, \dots, n)$$

- 期待値・分散

$$\begin{cases} E(X) = np, \\ V(X) = np(1-p) \end{cases}$$

Coffee Break!



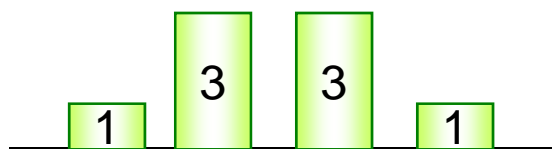
パスカルの三角形と二項係数

$${}_3C_0 = 1$$

$${}_3C_1 = \frac{3}{1} = 3$$

$${}_3C_2 = \frac{3 \cdot 2}{2 \cdot 1} = 3$$

$${}_3C_3 = \frac{3 \cdot 2 \cdot 1}{3 \cdot 2 \cdot 1} = 1$$



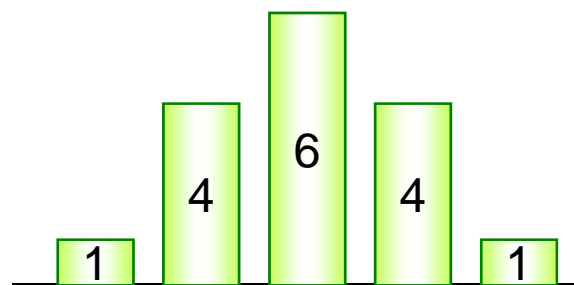
$${}_4C_0 = 1$$

$${}_4C_1 = \frac{4}{1} = 4$$

$${}_4C_2 = \frac{4 \cdot 3}{2 \cdot 1} = 6$$

$${}_4C_3 = \frac{4 \cdot 3 \cdot 2}{3 \cdot 2 \cdot 1} = 4$$

$${}_4C_4 = \frac{4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1}{4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1} = 1$$



...

...



離散型分布 discrete distribution



- 二項分布の例

- 例1: 製品ラインの不良品抜き取り検査

- 不良率 $p=0.5\%$ のロットから独立に1個ずつランダム抜き取り検査をした時に検出される不良品数 x の従う分布
- 参考) 不良率の期待値 $E(x/n) = np/n = p$

- 例2: 袋から球を取り出す

- 赤玉3, 白玉7入っている袋から1つ取り出しては戻すという行為を n 回行ったとき, 赤玉が5回出る確率は?

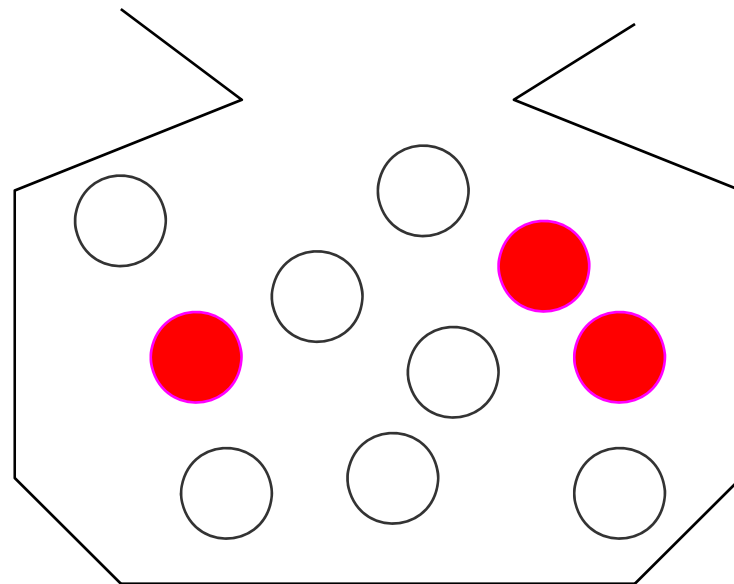
- 例3: サイコロを n 回投げて偶数の目が出る回数の従う分布

- サイコロを5回投げて偶数が出る回数の確率分布を求めよ

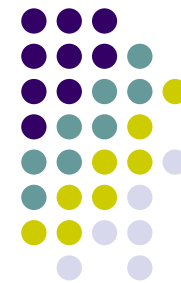
演習3



- 二項分布を求めよう
 - 赤玉3個，白玉7個入っている袋から1つ取り出しては戻すという行為を5回行ったとき，赤球が出る回数の確率分布(二項分布)を求めてみよう！

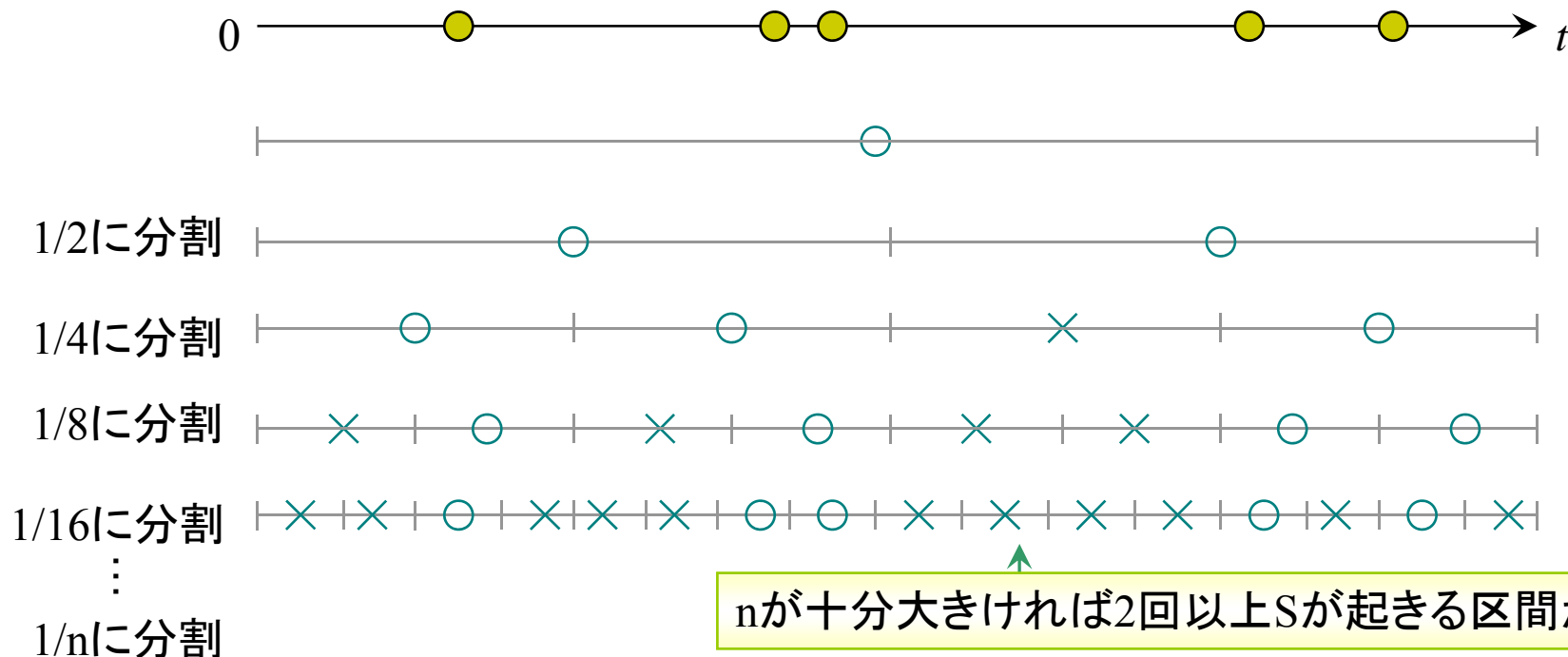


離散型分布 discrete distribution



● ポアソン分布 Poisson distribution

- ある時間帯の中で、ある事象が何回起きるか？
 - 例：電話番号案内
 - 事象S = 「通話がある」

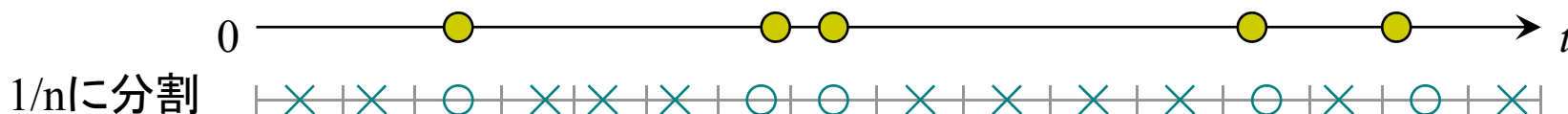


→ P(ある区間でSが2回以上起きる確率)=0とする

離散型分布 discrete distribution



● ポアソン分布 Poisson distribution



$\left\{ \begin{array}{l} \text{各区間でSが起きる確率} : p \\ \text{各区間でSが起きない確率} : q=1-p \end{array} \right\}$ とする

ベルヌーイ試行
とみなす

→ Sが起きる回数は二項分布 $Bi(n, p)$ に従う

確率pの事象が
n回の試行の中
でS回起こる

ところで、この時間内にSが起きる回数の期待値を λ とおくと...

$$\lambda = np \quad (\text{二項分布の期待値より})$$

よって、Sがk回起きる確率は、

$$\begin{aligned}
 & {}_n C_k p^k (1-p)^{n-k} \\
 &= {}_n C_k \left(\frac{\lambda}{n}\right)^k \left(1 - \frac{\lambda}{n}\right)^{n-k} \quad \left(\because \lim_{n \rightarrow \infty} \left(1 - \frac{\lambda}{n}\right)^n = e^{-\lambda} \right) \\
 &= \frac{\lambda^k}{k!} \left(\left(1 - \frac{1}{n}\right) \cdots \left(1 - \frac{k-1}{n}\right) \right) \left(1 - \frac{\lambda}{n}\right)^{-k} \left(1 - \frac{\lambda}{n}\right)^n \xrightarrow{n \rightarrow \infty} e^{-\lambda} \frac{\lambda^k}{k!}
 \end{aligned}$$

離散型分布 discrete distribution



● ポアソン分布 Poisson distribution

- 2項分布においてある事象が起こる確率が**非常に小さい**場合に適用できる分布
- 例: 工場の生産ラインでの不良率が1/500のとき, 1000個の製品を作ったとき x 個不良品だった

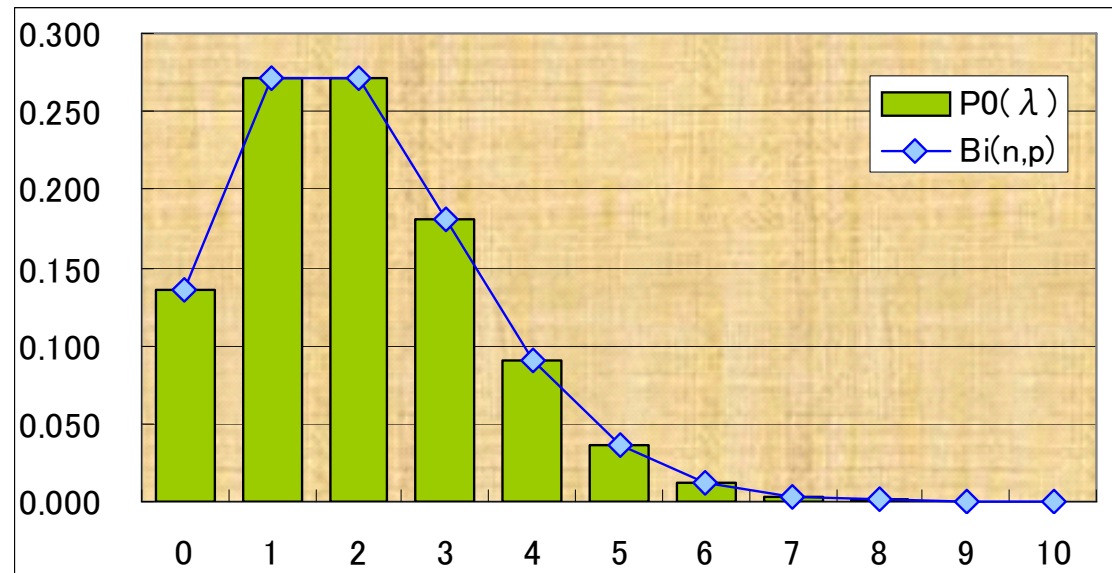
$$f(x) = {}_{1000}C_x \left(\frac{1}{500}\right)^x \left(1 - \frac{1}{500}\right)^{1000-x}$$

二項分布

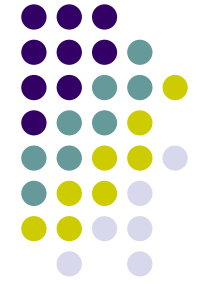
ポアソン分布

$$f(x) = e^{-2} \frac{2^x}{x!}$$

1000個のうち, 平均的に2個不良品



離散型分布 discrete distribution



- ポアソン分布 $Po(\lambda)$

- 確率分布

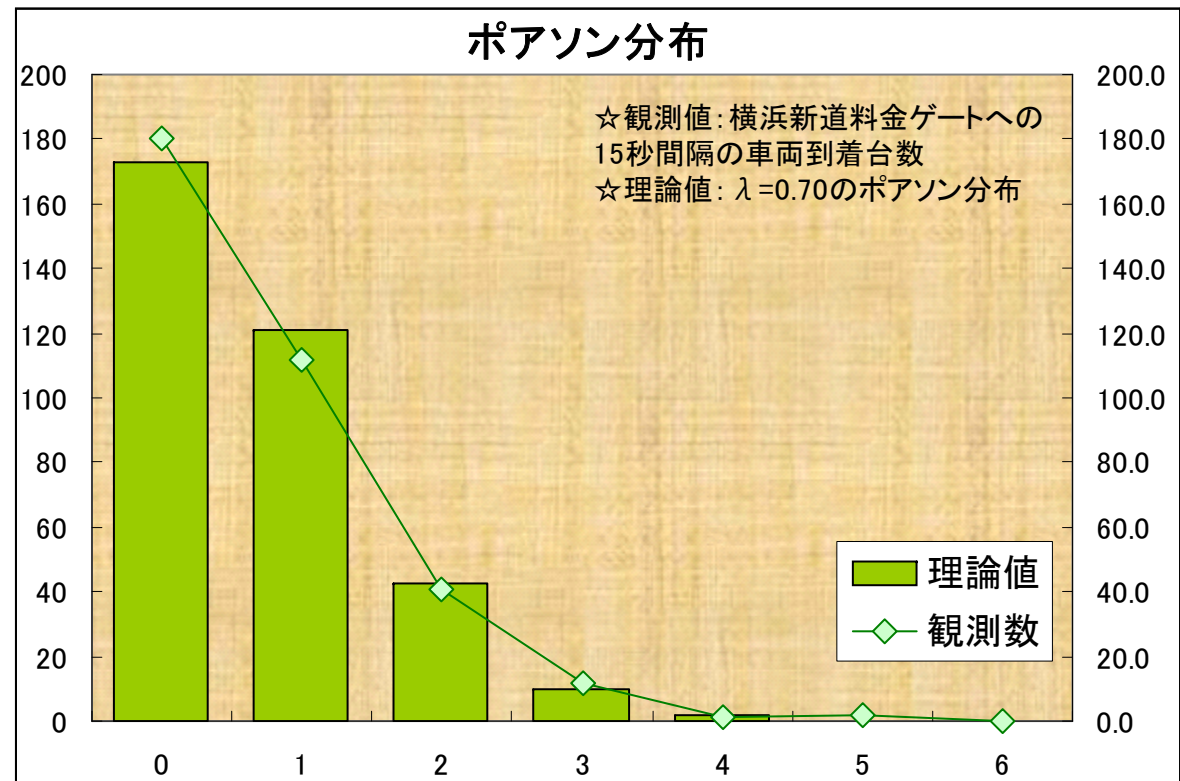
$$f(x) = e^{-\lambda} \frac{\lambda^x}{x!}, \quad (x = 0, 1, 2, \dots)$$

- 期待値・分散

$$\begin{cases} E(X) = \lambda, \\ V(X) = \lambda \end{cases}$$

例では...

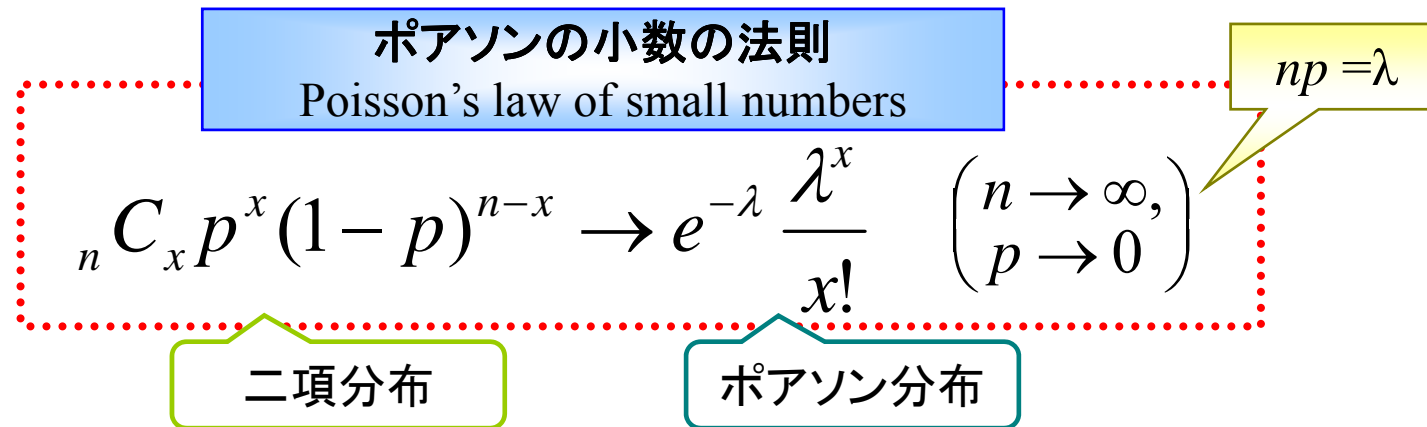
$$\begin{cases} E(X) = 0.70, \\ V(X) = 0.70 \end{cases}$$



離散型分布 discrete distribution



● 二項分布からポアソン分布へ



- 例: ある工場の生産ラインでの不良率が1/500である.
1000個の製品を作ったときx個不良品だった.

二項分布	$f(0) = 0.135065,$ $f(1) = 0.270670,$ $f(2) = 0.270942,$ $f(3) = 0.180628,$ $f(4) = 0.090223,$ \vdots	$f(0) = 0.135335,$ $f(1) = 0.270671,$ $f(2) = 0.270671,$ $f(3) = 0.180447,$ $f(4) = 0.090224,$ \vdots	ポアソン分布
------	--	--	--------